

南但地域のごみ収集・運搬業務の 広域化に伴う説明会 資料

これまで、養父市・朝来市がそれぞれ実施していたごみ収集・運搬業務を、平成28年4月から南但広域行政事務組合（南但クリーンセンター）に移管することにより、① 事業規模を拡大し、職員、車両等の資機材等の効率化を図るとともに、② 収集・運搬から処分を一元化にマネジメントすることによりリサイクル率の向上を図ります。

- これに伴い、
- ① 燃やすごみ用の指定ごみ袋
 - ② ごみの収集頻度
 - ③ 大型ごみの収集方法

が変更になる予定です。

① 燃やすごみ用の指定ごみ袋が変わります。

4月から燃やすごみは、南但広域行政事務組合 指定（養父市・朝来市共通）のごみ袋に入れて出してください。

青色 ⇒ えんじ色へ

- ・新しい指定ごみ袋は、4月からの販売になります。
- ・指定ごみ袋は、今まで通り1枚当たり
 - 大袋：60円（10枚入り600円）
 - 小袋：40円（10枚入り400円）で、販売します。
- ・養父市・朝来市の小売店等で購入いただけます。
- ・材質は、低密度ポリエチレン、乳白色、取手付き・マチなしで、現在と変わりませんが、少しサイズが大きくなります。
- ・既に購入いただいた養父市の指定ごみ袋は、引き続きご使用いただけます。

南但広域行政事務組合指定
(養父市・朝来市共通ごみ袋)

燃やすごみ用

ごみ袋(大)

0.03mm X 65cm X 85cm

- この袋には燃やすごみを入れてください。
- ごみの減量・分別にご協力ください。

② 不燃ごみ・危険ごみの**収集頻度**が変わります。

不燃ごみの収集が2ヶ月に1回から1ヶ月に1回に、危険ごみの収集が4ヶ月に1回から1ヶ月に1回に変わります。

- ・収集品目（12品目）、ごみを出す場所に変更はありません。
- ・ごみの収集日は、今までと同じように、ごみ収集カレンダーにてご確認ください。

収集品目（12分別） （変更はありません）	場所	現在の 収集回数	変更後 （平成28年4月から）
不燃ごみ	（ステーション・拠点へ）	1回/2ヶ月	1回/1ヶ月
危険ごみ		1回/4ヶ月	1回/1ヶ月
可燃ごみ（燃やすごみ）	変更はありません。 （ステーション・拠点へ）	変更ありません。	2回/週
プラスチック製容器包装			1回/週
紙製容器包装			1回/週
かん類			1回/月
びん類			1回/月
ペットボトル			1回/月
新聞・雑誌・段ボール			1回/月
大型ごみ			*計画収集

ごみを出す日は今までと同じように、ごみ収集カレンダーにてご確認ください。（市広報3月号と一緒に配布予定）

資源ごみの集団回収を実施されている地区は、収集頻度が異なります。地区のごみ収集カレンダーでご確認ください。

③ 大型ごみは、~~無料~~ ⇒ 有料になります。

有料化の目的

- (1) 「もったいない」意識の再確認、リサイクルの促進を図る。
- (2) ごみ処理費用に対する負担の公平性(出す人・出さない人)を確保する。
- (3) 減量化・発生抑制により、環境負荷や処理費用の軽減や処理設備の延命化などにつなげる。

大型ごみを出す場合には、大型ごみ指定シール（1枚 300円）を購入・貼付してください。

特別大型ごみ 収集できません

特に処理に手間がかかるもの シール 3枚

特に大きいもの シール 2枚

上記以外のもの シール 1枚

可燃性の素材 | 長いもの | 不燃性の素材 } 工夫で可燃・不燃ごみとして収集可能

案

大型ごみ指定シール
(養父市・朝来市共通)

大型ごみ指定シール
(養父市・朝来市共通)

○貼るシールの枚数は、下の表を参考にしてください。
○ごみの品名、なまえを必ず書いてください。
○一度使うと再使用できません。

○大型ごみとは、燃やすごみ袋に入らない大きさのもの
○不燃性の大型ごみは50cm×50cm×100cmの形状内に収めることができないもの

品目	例) たんす
なまえ	

南但広域行政事務組合

項 目	手数料	品 目
特に処理に手間がかかるもの、 新しいものを購入したときに業者に 処理を依頼するべきもの	900円 (シール3枚)	スプリング入りマットレス、ベ ッド類（ベビーベッドを除く）、 3人掛け以上のソファ、椅子 式電気マッサージ機、畳 など
特に大きいもの 高さ+横幅+奥行きの3 辺の長さの合計が、3m以 上のもの	600円 (シール2枚)	家具類、下駄箱、食器棚、スチ ール整理棚、タンス、本棚、ロ ッカー など
上記以外のもの 高さ+横幅+奥行きの3 辺の長さの合計が、3m未 満のもの	300円 (シール1枚)	

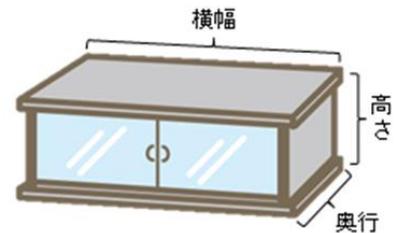
収集できないもの

- ・電動ベッド、大型金庫類等、重量のかさむ特別大型ごみは、大型ごみとして収集できません。購入した業者に依頼するか、南但クリーンセンターへ直接持込んでください。
- ・家電リサイクル法の対象品目（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機）、爆発物・危険物等、処理困難物は収集できません。

ポイント！

皆さんは、どうして大型ごみだと判断されていますか？

- ・可燃性の素材のものは、指定ごみ袋に入るか入らないかが一つの判断基準になります。
- ・不燃性の素材ものは、大きさ（50cm×50cm×100cm以内）が判断基準となります。



即ち、大きいけど工夫次第で大型ごみにはなりません。

可燃性の素材	可燃性素材の長いもの	不燃性の素材
工夫（解体）して指定ごみ袋の大袋に入れば可燃ごみとして出せます。	原則、1 m未満に切ることができれば可燃ごみとして出せます。	外形寸法が、50 cm×50 cm×100 cm以内の大きさであれば、不燃ごみとして出せます。
プラ製衣装ケース、椅子、木製・プラ製おもちゃ など	ゴムホース、布団カバー、タオルケット など	スチール製棚、ガラス製水槽 など

詳しくは

「家庭ごみの分別とリサイクルの手引き」でご確認ください

品目	素材・用途など	区分	指定シール	出し方のポイント（家庭用）
い 椅子	プラ製・木製	可燃		安全に分解又は切断できれば「指定ごみ袋」に入れて出してください。
	金属製 (金属部品を含む)	不燃		(50 cm×50 cm×1 m) 形状に収まる場合
	上記以外	大型	1枚貼/点	
こ ゴムホース		可燃		(選別機の巻付防止) 1 m未満に安全に切断できれば「指定ごみ袋」に入れて出してください。切断できない場合は、「大型ごみ」、又は「直接搬入」へ
		大型	1枚貼/点	

長尺物（長いもの）は、出し方にご注意ください。

布団



たたむ大きさは、概ね、
(1m×70cm×40cm)
の大きさに、紐で括ったものを1セット（組）とします。

※セットごとに、指定シール1枚を貼る。

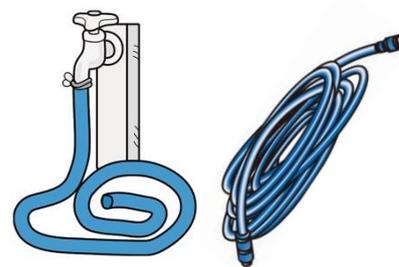
カーテン



たたむ大きさは、概ね、
(80cm×80cm×40cm)
の大きさに、紐で括ったものを1セット（組）とします。

※セットごとに、指定シール1枚を貼る。

水道ホース等



切断し可燃ごみに出せます。

※切断できないときは、巻いて束ねて大型ごみに。

大型ごみの出し方（手順）

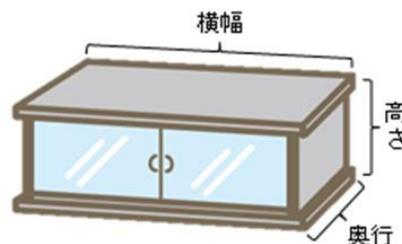
- 1 「家庭ごみの分別とリサイクルの手引き」で確認する。
- 2 （一点ごと）必要な、大型ごみの指定シールを購入する。
- 3 「品目」、「氏名」を記入して、見やすいところに貼る。
- 4 大型ごみの日に、ごみステーションへ出す。

④ 新たな取り組みとして 大型ごみの戸別収集を始めます。

これまで朝来市が取り組んできた、戸別収集を養父市でも始めます。

収集回数は月1回となりますが、あらかじめ電話で予約していただければ予約時に打合せいただいた場所（自宅前、駐車場などの屋外）まで収集にお伺いします。

- ・収集職員は、家の中からの運び出しは行いません。
- ・収集時間の指定はできません。
- ・料金として、大型ごみの品目・大きさに応じた手数料（300円～900円）に加えて戸別収集手数料が、1点につき1,200円かかります。



(参考) 1点(個)

本 棚	高さ+幅+奥行の長さが3m未満	1,500円
	〃 3m以上	1,800円

※大きさにより、料金が変わります。正確に大きさを測ってください。

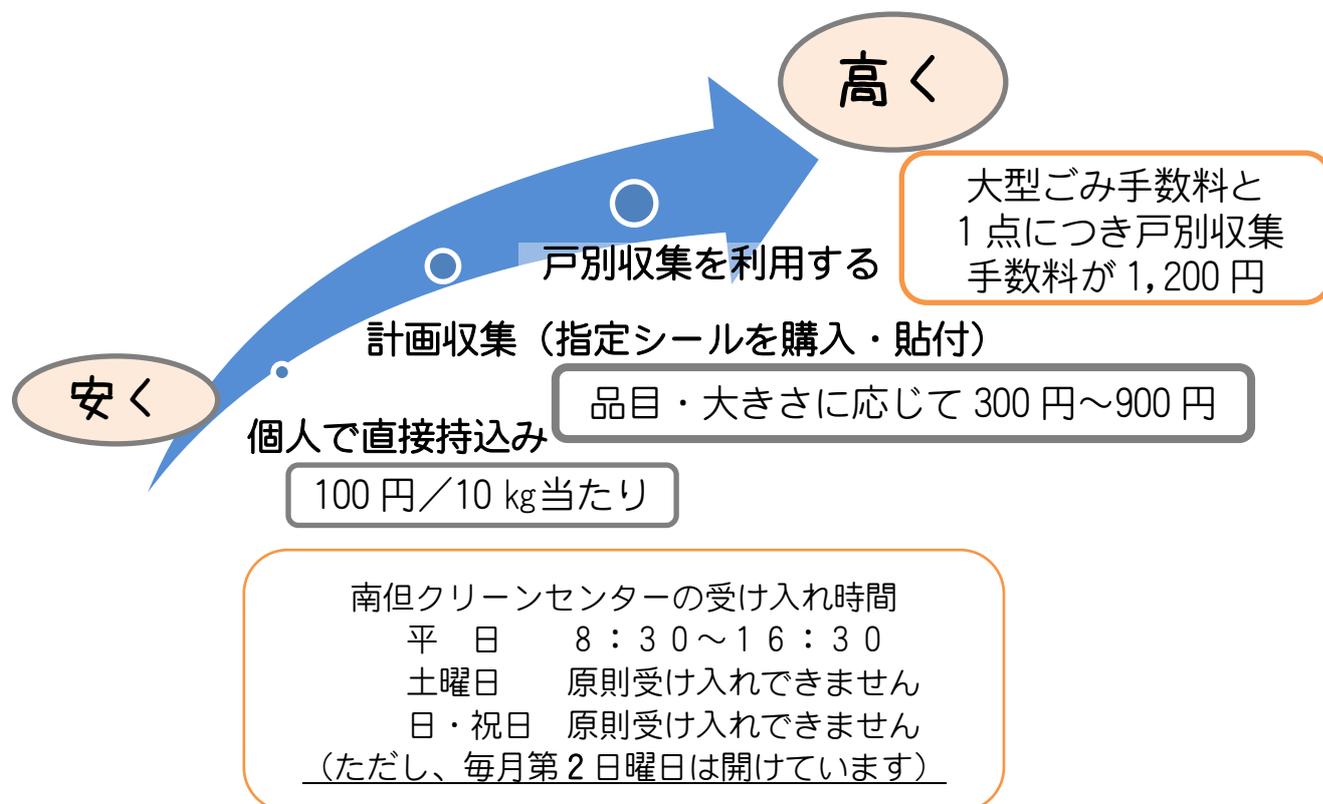
大型ごみの戸別収集の流れ（手順）

- 1 出したいごみのサイズ（高さ・横幅・奥行）を測る。
- 2 南但クリーンセンター（670-3366）へ電話で予約する。
- 3 品目、大きさを伝える。（料金をお伝えします）
- 4 収集日、収集場所（出す場所）を確認する。
- 5 収集日に打合せした場所に大型ごみを出し、収集に立会う。
- 6 料金を支払う。

ご不在の場合は、収集できません。郵便受けに不在票を入れ、収集予約の取り消しをさせていただきます。

その後収集を希望される場合は、再度お申し込みが必要になります。

大型ごみの処分に関する料金体系について



3R（スリーアール） ごみ減量のために

※環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニア人女性、ワンガリ・マータイさんが、2005年の来日の際に感銘を受けたのが「もったいない」という日本語でした。地球環境に負担をかけないライフスタイルを広め、持続可能な循環型社会の構築を目指す世界的な活動として、日本から生まれた「もったいない」が今、世界をつなげるアイコトバ、「MOTTAINAI」へ。

ごみの減量には3R（発生抑制、再使用、再生利用）の順番で取り組みましょう。

① 発生抑制（Reduce：リデュース）

物を大切に使い、ごみの排出量を抑えましょう。特に紙類の使用は必要最低限に、生ごみは発生量を減らし水切りを徹底しましょう。



② 再使用（Reuse：リユース）

新たなごみを出さないため、使えるものは繰り返し使いましょう。

③ 再生利用（Recycle：リサイクル）

大切な資源（古紙類やビン、カン、ペットボトルなど）を正しく分別し、リサイクル商品を積極的に利用しましょう。

詳しい内容については、
3月中に、ご家庭にお配りする「家庭ごみの分別とリサイクルの手引き」、ごみ収集カレンダーでご確認ください。

「家庭ごみの分別とリサイクルの手引き」 ごみ分別早見表（五十音順）

品目	素材・用途など	区分	指定シール	出し方のポイント（家庭用）
い	石	砂利、自然石、庭石		廃棄物の対象でないため、収集しません。
	衣装ケース	プラ製	可燃	安全に分解又は切断できれば「指定ごみ袋」に入れて出してください。
		金属製 上記以外	不燃 大型	1枚貼/点
椅子	プラ製・木製	可燃		安全に分解又は切断できれば「指定ごみ袋」に入れて出してください。
	金属製 金属部品を含むもの	不燃		(50cm×50cm×1m)形状に収まる場合
	上記以外	大型	1枚貼/点	

品目ごとに整理しています。

家庭ごみの分け方と出し方

養父市
南但広域行政事務組合

「混ぜればごみ、分ければ資源」分別収集にご協力ください。

処理できるごみの種類	ごみの例	備考
燃えるごみ	生ごみ、貝殻、プラスチック製品、カバン等の革製品、紙くず、木片、紙おむつ、食用油等、ヘルメット（プラスチック製）、CD、インク（文具）、DVD、アルバム	<ul style="list-style-type: none"> ●有料（指定袋に入れる。） ●生ごみは水切りをして出す。 ●大きな物は、指定袋に入るようにする。 ●食用油は、紙や布にしみ込ませるか固形化して出す。
紙製容器包装	包装紙類、紙箱類、紙袋類、台紙類、紙缶類、紙バック類、牛乳バック	<ul style="list-style-type: none"> ●無料（紙製容器包装用折りたたみボックスに出す。） ●中身を残さず、汚れた物は洗って出す。 ●汚れが取れない場合は燃えるごみへ。
プラスチック製容器包装	レジ袋などの袋類、トレイ類、ふた類、バック類、緩衝材類	<ul style="list-style-type: none"> ●無料（プラスチック製容器包装用折りたたみボックスに出す。） ●中身を残さず、汚れた物は洗って出す。 ●汚れが取れない場合は燃えるごみへ。
ペットボトル	飲料用（酒・ジュース等）、調味料用、乳飲料用ペットボトル	<ul style="list-style-type: none"> ●無料（ペットボトル用折りたたみボックスに出す。） ●キャップとラベルをはずし水洗いして出す。
資源ごみ		
かん類	飲食用缶類（アルミ缶、スチール缶）※1リットル未満の缶（リットル未満の缶）	●無料（十文字にくっつけて出す。）
びん類	飲食用びん類、家庭用薬びん類 ※上記以外のびんは不燃ごみへ	●無料（十文字にくっつけて出す。）
新聞類	新聞、広告、チラシ	●無料（十文字にくっつけて出す。）
雑誌類	雑誌、カタログ類、本、かた紙、厚紙、カレンダー等（新聞、段ボール、ビニールコート紙、ノーカーボン紙、感熱紙、防水加工紙以外の紙）	●無料（十文字にくっつけて出す。）
段ボール	段ボール	●無料（十文字にくっつけて出す。）
大型ごみ	電気毛布、カーペット、スプリング入りマットレス、自転車、ガラス戸、ふすま、いす、机、たんす、下駄箱、布団、一輪車、食器棚、スキー板	<ul style="list-style-type: none"> ●無料 ●金属・ガラス・布・木片等に、できるだけ分解・分別して出す。 ●ガラス戸、ふすまは1回排出につき2枚まで。
不燃ごみ	電子レンジ、除湿機、スプレー缶、アイロン、扇風機、一斗缶、延長コード、トースター、ゴルフバック、傘、ストーブ、カセットボンベ、スキー靴、ガスコンロ、鍋、ゴルフクラブ、炊飯器、スコップ、掃除機、電気ポット、ハンガー、ビデオデッキ、照明機	<ul style="list-style-type: none"> ●無料（専用コンテナ（かご）に出す。） ●ストーブやファンヒーターは、灯油を抜いてから出す。

分かりやすい
ポスターを作成します。

（注）この説明会資料は、南但広域行政事務組合での議会の議決後に正式に決定されます。

問合せ先：（養父地域局）環境推進課 電話／ケーブル 664-2033